

# ものづくり通信



## 2018年新年号

第146号

大阪府ものづくり振興協会

大阪府中央区本町橋2番5号マイドームおおさか6階

電話・06-4792-7897

### 2018年 年頭所感

会長 池崎 博之



新年あけましておめでとうございます。

旧年中は当協会の事業活動に対しまして、会員各位並びに関係行政機関、関係団体には多大なご協力ご支援を賜りまして厚く御礼を申し上げますとともに、本年もなお一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

さて、昨年を振り返りますとわが国の経済も引き続き堅調に推移しており「いざなぎ景気」を上回って戦後2番目の長さになったとみられます。政府は「景気は着実に持ち直している。先行きについては、人出不足や海外情勢に対する懸念もある一方、引き続き受注、設備投資への期待がみられる。また、家計部門も穏やかに回復している」としています。またIMFも世界の景気回復は力強さを増している。昨年以降欧米では政治の混迷も見られる中で「世界同時成長」とも言われる経済の好調が順調に推移しており、本年も引き続き堅調である。としています。

昨年は、日本の製造業を代表する大企業で不祥事の発覚が相次ぎ、「メイド・イン・ジャパン」の信頼を揺るがす事態が相次ぎました。我々大阪の中小企業のものづくりを取り巻く環境は原材料の高騰やエネルギーや人手不足に伴う人件費の高騰などで苦しんでいる企業も多々ありますが真摯に「ものづくり」に取り組み信頼を勝ち得る必要に迫られもう一度原点に戻り、世界を始め特にアジア諸国との競争に勝ち抜く必要があると思います。

もちろんその中にはIT化、IoT化を進め、海外製品に負けない技術と品質を通し、わが国特有の細やかなものづくりをしていくかに尽きるのではないかと考えております。また同時に合理化や省力化、標準化を通してコストダウンを図り、競争力をつけていかなければならないことは当然ですが、幸いにも国も「ものづくり補助金」で我々の背中を後押しいただいている大阪府中小企業団体中央会ものづくり中小企業支援室によると採択件数の延べでは全国一となっているようです。これらも有効に活用して新製品の開発や販路開拓に繋げていくのも一考ではないでしょうか。

何れにしましても私ども大阪府ものづくり振興協会といたしましては、5年前にスタートしました「OSAKA-MONO.net」をさらに拡充させ会員及び各組合の皆様とのネットワーク化や従業員のスキルアップを図るなどして情報発信を強化させたいと存じております。

また、大阪府中小企業団体中央会との共催セミナーの実施。昨年末には大阪府、大阪労働局、大阪運輸局、近畿経済産業局、近畿地方整備局等の官民21団体で構成する「大阪府人材確保推進会議」では、製造業、運輸業、建設業の人手不足や女性や若者が魅力を感じるような職場づくりや働き方改革を推し進めるためにそれぞれの分科会を本年設けるようです。製造業分科会では大阪工業会と私ども「もの協」が構成団体に入っておりますので、これらを通して魅力ある業界づくりの一助になればと考えています。

新しい年が私にたちにとってよき年でありますように、また関係各位のますますの躍進を祈念しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。





## 2018年 年頭所感

### 近畿経済産業局長 森 清



平成30年の新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年の日本経済は総じて景気回復が続き、中小企業の業況も改善傾向にあります。先月閣議決定された「新しい経済政策パッケージ」などを着実に推進することにより、この改善の動きを関西全域に幅広く行き渡らせ、関西の潜在成長率を高めていくことが重要です。ここ関西には、化学や鉄鋼などの基礎素材や、電子・電機分野の基盤的な部素材を扱う企業が多く、これらに関連するベンチャーから大手企業までフルセットの産業構造が存在しています。さらに、企業を継続して支援する大学や研究機関も数多く立地しています。この強みを活かすため、各有望分野で、意欲ある若者や地域を牽引する中小企業、企業支援に積極的な金融機関を取り込んだ、産学官金のネットワーク作りや事業環境の整備に取り組んでいきます。関西では、2025年の国際博覧会の誘致活動が、今秋の開催地決定に向けて活発化しています。万博の開催は世界から注目を浴びる絶好の機会となり、関西のイノベーション創造の起爆剤として大きな効果が期待できます。

当局においても、経済界や地元自治体とともに万博誘致に全力で取り組んでまいりますが、誘致を成功させるためには地元関西の機運醸成が何よりも重要になります。皆様におかれましても、御支援、御協力のほどよろしく願いいたします。

こうした現状を踏まえて、当局といたしましては、以下の3つの重点分野に取り組む所存です。

一つ目は、関西の特長を活かしたビジネス環境の創生です。

現在、IoT・ロボット・AI・ビッグデータなどの技術革新を背景とした第4次産業革命による、新たな繋がり（Connected Industries）から、個々のニーズを解決する「Society 5.0」を志向した様々なビジネスモデルが生まれつつあります。

当局では、中小企業のIoT・ロボット導入に向けた支援や、再生医療産業・医療機器市場の活性化の促進、航空機・セルロースナノファイバーといった次世代製造業の創出プロジェクトなどに取り組み、関西にポテンシャルのある産業や、多くの研究機関などとの交流を演出し、Connected Industries時代に向けたイノベーション創出を支援してまいります。

二つ目は、持続可能な世界を目指した技術と感性での世界への貢献です。

2015年に国連において採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」は、関西にとっても国際貢献とビジネスチャンスの拡大につながる重要な目標です。当局では、「SDGsプラットフォーム」を立ち上げ、ビジネスネットワークの構築を進めるなど、積極的にSDGsの実現に取り組んでまいります。

また、関西発の技術によるイノベーションの加速、関西固有の感性によるクリエイティブ産業の新たな市場創出、環境・省エネ分野をはじめとする中堅・中小企業の海外展開支援、スマートエネルギーを活用した革新的なエネルギービジネスの創出にも取り組んでまいります。

三つ目は、地域未来投資の促進と中小企業の事業環境整備です。

地域未来投資促進法の成立を契機に、地域の特性を活かした成長性の高い分野に取り組む動きが活発化しています。関西経済の好循環の実現に向けて、地域未来投資の促進により、中核企業を集中的に支援してまいります。

また、中小企業の課題解決に向けて、事業承継支援や人材不足対策による事業環境の整備に取り組んでまいります。

さらに、局職員が「がんばる企業応援隊」として、年間1,000社を訪問するなど、中堅・中小企業の実態把握と地域中核企業支援のさらなる強化に努めます。

本年はこれらの取組に全力をあげ、関西経済のさらなる活性化を目指してまいります。

結びに、経済産業行政への御理解と御協力をお願いするとともに、皆様の御多幸と御健勝を祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。



## 2018年 年頭所感

大阪府知事 松井 一郎



新年あけましておめでとうございます。

私はこれまで、「成長と安全・安心のよき循環」により、府民の皆様が生活のなかで豊かさを実感できる大阪の実現に取り組んできました。その結果、来阪外国人旅行者数は大幅に増加し、雇用状況も改善するなど、大阪経済はゆるやかな回復傾向を示しています。

今年は、これまで積み上げてきた成果を土台に、府民の皆様や市町村、経済界とともに、さらなる成長の芽を大きく育てていく一年としたいと考えています。

自らの有するポテンシャルを見定め、さらに磨きをかけていくことで、「副首都・大阪」をめざし、東西二極の一極として日本の成長をけん引し、誰もが安全・安心に暮らせるまちにしていきます。

これを支える制度面の取組みが、新たな大都市制度の実現です。住民の皆様のご意見を踏まえ、議会と丁寧な議論を重ね、今年秋に住民投票を実施したいと考えています。

成長の大きなインパクトとなる2025年の国際博覧会のテーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」です。子どもからお年寄りまで、だれもが生き生きと暮らせる健康で豊かな社会。そのような社会を大阪・関西から実現し、世界に広めていく。それが、私たちがめざす2025年の万博の姿です。

世界から様々な「知」を集め、発信することにより、府民はもちろん、世界の人々を笑顔にしたいと考えています。

今年秋には、いよいよ開催地が決定されます。フランス、ロシア、アゼルバイジャン。いずれも強敵ですが、皆様と心をつなぐ、オールジャパンで誘致を勝ち取りたいと思います。応援よろしくお願ひします。あわせて、好調なインバウンドをさらに加速するのが、統合型リゾート(I R)です。今後、I R実施法案の成立を見据え、他の自治体に先駆け、大阪の目指すI Rの姿を示します。ギャンブル等依存症などの懸念事項への対策も、着実に実行していきます。

こうした取組みを通じ、エンターテインメントやMICE機能を備え、ビジネス客からファミリー層まで安心して楽しめる、「世界最高水準の成長型I R」を核とした国際観光拠点を、大阪・夢洲で実現させたいと考えています。

成長の基盤となる都市インフラの充実にも力を注ぎます。

魅力あふれる都市空間の創造に向け、大阪の顔となる「うめきた2期」の整備を進めるとともに、関空アクセスを強化するため、長年懸案だった「なにわ筋線」をはじめ、リニア新幹線や北陸新幹線など、広域鉄道ネットワークの整備も着実に進めます。

万博の掲げる「いのち輝く未来、だれもが活躍できる社会」をめざし、大阪・関西の強みであるライフサイエンス関連産業・研究機関の集積を生かしたイノベーションの創出に取り組むとともに、健康寿命の延伸や子育て環境の整備、多様な人材育成を進めます。

今年の春には、重粒子線がん治療施設が開設します。近接する大阪国際がんセンターと連携し、豊かな暮らしの基礎となる質の高い医療を提供します。

また、市町村と連携しながら保育所等の待機児童の解消や、子どもの貧困対策など、子育て環境の整備に全力で取り組みます。

次の時代の大阪を担う子どもたちの教育については、学力・体力の向上や、英語教育の充実、課題を抱えた児童・生徒の支援など、さらなる教育力の向上に努めます。

一人ひとりが活躍できる社会の基盤となるのが、災害対策です。

自然災害から府民の皆様の暮らしを守るため、「人命を守る」ことを最優先に、南海トラフ巨大地震への備えや豪雨対策など、様々な危機事象に確実・迅速に対応できるよう、着実に対策を進めます。

今年も府庁が一丸となり、府民の皆様のための施策を力強く推進していきます。一層のご理解、ご協力を願ひいたしますとともに、本年が皆様にとって実りある素晴らしい年となりますようお祈りします。



## 2/6(火) 機械金属部会「素人のための電気鍍金入門」講習会

機械金属部会活動は、関連のある他業種を知ること、今後の事業活動を行う上で役に立つ講習会を行い、講習会後異業種交流会として名刺交流会を行います。

日時：平成30年2月6日(火) 15:00～

場所：(講習会)大阪府鍍金工業組合研究室 (名刺交換会)飛龍

会費：交流会参加者のみ5,000円(当日徴収します)

### 人材確保推進会議

#### インターンシップ 今や定番!? 若い人材で企業を活かす!! 参加企業募集

大阪府では 製造業・建設業・運輸業 を中心にインターンシップを実施しています  
インターンシップは企業が学生に就業体験の場と機会を提供する制度ですが、企業にとっては自社の魅力発信!!  
学生へのPRを行える絶好の機会でもあります。  
ぜひご参加ください!!

\*インターン生の受け入れに興味はあっても、実習プログラムはどうするか、学生に何を伝えればいいのかなど、大阪府人材育成課では、受け入れにあたっての不安や疑問が少しでも解消できればと、コーディネーターを派遣し、事前説明や事例紹介、インターンシップのメリットや注意すべき点などの説明にお伺いしますので、ぜひこの機会にご検討ください。皆様の参加をお待ちしております。

大阪府商工労働部雇用推進室人材育成課 TEL:06-9210-9529

### 協会より

#### ◎ 平成30年度大阪府憲法記念日知事表彰について

ご推薦いただきました産業功労者の団体役員7名の方を大阪府へ進達しました。

#### ◎ 平成30年 新年交流会の開催

月日：1月24日(水)

場所：ヴィアーレ大阪

時間：一部 17:00～ 講演会：高橋健三氏 / 「大阪らしいものづくりを進める視点と発想法」

二部 18:00～ 交流会 \* 皆様、多数ご参加下さい!

#### ◎ 部会活動の予定

《機械金属部会》

・部会事務局会議：2月6日(火) 13:30～ 大阪府鍍金工業組合会議室

・講習会：上記にて記載

《繊維・ファッショ部会》

・部会事務局会議：1月24日(水) 15:30～ 日本カーペット工業組合

《生活・化学部会》

・部会：1月24日(水) 16:00～ ヴィアーレ大阪

#### ◎ 今後の予定

事務局長会議：2月8日(木)

詳細は、後日お知らせいたします。

